



2022年2月21日
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社 JR 西日本テクシア
銚子電気鉄道株式会社

鉄道事業者間でのオープンイノベーションの取り組み

～銚子電鉄との共創（駅向け簡易情報提供端末「Scomm.」の導入）～

西日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 西日本」）はオープンイノベーションの取り組みとして、全国の鉄道事業者間での技術・ノウハウの共有や課題解決などの共創活動を実施しています。活動の中ではオペレーションやメンテナンスにおける共通課題の掘り起こしや地域の社会課題解決のためのヒントを探るディスカッションを重ねています。

このたび、銚子電気鉄道株式会社（千葉県銚子市；以下「銚子電鉄」）との共創活動において、無人駅でのお客様への情報案内を簡易に実施する課題解決として、JR 西日本のグループ会社である株式会社 JR 西日本テクシア（以下「JR 西日本テクシア」）が保有する駅向け簡易情報提供端末「Scomm.」の機能を提供し、銚子電鉄にて現場課題に対応した運用を開始することとなりました。さらに、銚子市とも連携し非常時における災害情報の発信も行います。

JR 西日本グループは、今後も鉄道事業者間での共創活動を広げ Win-Win の関係を構築できるオープンイノベーション活動を推進していきます。

※「Scomm.」は、JR 西日本テクシア（兵庫県尼崎市）の開発によるもので、駅やホテルのロビー、商業施設などさまざまな場所で活用いただける簡易情報端末です。

1. 導入駅

銚子電鉄 ^{かんのん} 観音駅、^{もとちょうし} 本銚子駅、^{にしあしかじま} 西海鹿島駅、^{あしかじま} 海鹿島駅、^{きみがはま} 君ヶ浜駅、^{とかわ} 外川駅

2. 運用開始日

2022年2月25日（金）

3. 駅向け簡易情報端末「Scomm.」概要

別紙

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 9 番、11 番、17 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



Scomm.について

特徴

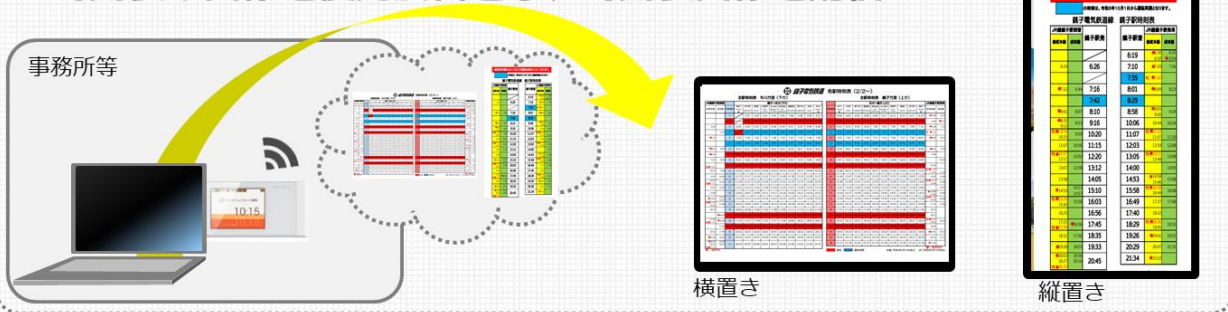
- ✓ 無人駅を中心に**600**台以上の導入実績あり!
- ✓ **離れた場所**から**端末を操作**できる!
- ✓ **無線通信**のため配線工事**不要**!



主な機能紹介

①サイネージ機能による時刻表表示

- ✓ 時刻表の画像を優先広告とし、時刻表画像を配信!



- ✓ 急な臨時列車や運休の際も現地向かうことなく、事務所から時刻表を配信可能
- ✓ 画像ファイルを準備すれば、全駅表示・各駅表示の複数表示可能

②手入力情報による柔軟な情報配信

- ✓ 配信したい内容を入力して、すぐに配信!

No.	情報種類	路線	タイトル	本文
0001	手入力遅延情報	イベントのお知らせ	スタンプラリー開催	3月1日～3月20日の間で、大阪環状線の各駅を舞台にスタンプラリーが開催中！ スタンプを集めると豪華な景品が！！ ふるってご参加ください(((o(*∇*)o))) ご当地キャラクターもたくさん来るよ♪

保守操作画面のサンプル

- ✓ 情報の優先度を設定し、TPOを考慮した配信が可能!

優先度	項目
高	手入力遅延情報
↑ ↓	注意情報
低	一般情報

